

中央区立晴海西中学校年間指導計画

教 科	音 楽	学 年	2 年
-----	-----	-----	-----

【教科の目標】

- ・ 仲間と協力して表現をつくりあげる音楽活動の喜びを体験することを通して、音や音楽に対する興味・関心を高める。
- ・ 曲想や背景、楽曲構造を理解させ、創意工夫を生かした音楽表現をさせる。
- ・ 多様な時代や国の音楽の学習を通して、音楽が人々の生活や文化に果たす役割について考えを深めさせる。

【使用教材・副教材・使用教室・指導形態】

使用教材：音楽の教科書（教育出版）、コーラスフェスティバル、ファイル  
 使用教室：第1音楽室、第2音楽室  
 指導形態：一斉指導、グループ活動

【評価の観点と方法】

	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・ 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 観察</li> <li>・ 実技テスト</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知識・技能を生かし、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫している。</li> <li>・ 音楽を評価しながら、よさや美しさについて説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 観察</li> <li>・ 実技テスト</li> <li>・ 定期考査</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的・協働的に音楽活動に取り組み、体験を通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいこうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>

【授業の進め方と学習のポイント】

- 音楽を聴くときは、いつも「どのような特徴があったか」、「どのような感じがしたか」を意識して聴き、言葉にして表現してみましょう。
- 音楽を表現するときは、基本的な技能の習得だけでなく、「意思の強さを伝えるために、ここははっきりと発音して歌おう」というように、曲の思いや意図を表現するために創意工夫をしよう。
- 授業では皆さんの発言を取り入れながら進めます。是非積極的に挙手して発言しましょう。また、仲間の意見もメモし、表現の幅を広げましょう。
- 提出期限を守り、忘れ物がないよう持ち物を確認しましょう。

【家庭学習の進め方】

- 教科書やワークシートを見て、授業で学習した内容を復習しましょう。
- 実技は、基本的な歌唱方法や表現の工夫を意識して練習しましょう。音程や歌詞は覚えましょう。
- 課題は丁寧に取り組み、その時の発見・気づきを大切にしましょう。

【年間指導計画（音楽）】

	時間	単元名	主に学習すること	学習のねらい
4月	3	正しい発声を確認しよう。 ・音楽科のルール、合唱の基本、楽典の基礎 ・発声練習の仕方	・基礎の姿勢、表情、発声方法	・音楽の基礎知識を身につけて、多様な表現に生かす。 ・歌唱の正しい姿勢と発声方法を身につける。
5月				
6月	3	言葉の抑揚と旋律との関わりを生かして歌おう。 ・「夏の思い出」	・発音、鼻濁音 ・強弱の表現方法 ・音楽の要素（強弱、速度、伴奏）と曲想の関わり	・音楽の要素を工夫することによって、曲想や雰囲気の変化することを理解する。 ・曲想に合わせた発音方法（鼻濁音等）を身につける。
7月	3	オーケストラの響きを味わおう。 ・ベートーヴェン「交響曲第5番」	・作曲者、作曲背景 ・オーケストラの楽器・音色 ・曲の形式、構成	・オーケストラの楽器の種類や、音色の特徴・魅力について理解する。 ・交響曲の形式や構造のよさや美しさを味わう。
9月	13	学習発表会に向けて ・合唱曲	・各声部の役割 ・全体のハーモニーづくり	・歌詞の内容や曲想を感じ取らせ、表現を創意工夫させる。 ・声部の役割を理解させ、全体の響きを考えて表現させる。
10月				
11月	4	連合音楽会に向けて ・合唱曲	・各声部の役割 ・全体のハーモニーづくり	・声部の役割を理解させ、全体の響きを考えて表現させる。 ・歌詞の発音をはっきりと強調させる。
12月				
	2	歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう ・歌舞伎「勸進帳」	・謡と三味線との関わり ・舞台や楽譜について ・演目の物語、構成	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 ・音楽を形作っている要素を感受しながら良さを味わう。
1月	1	B箏で「さくらさくら」を演奏しよう。	・一年次の復習（姿勢、平調子、楽譜の読み方） ・新しい奏法の習得	・箏特有の美しい音色を味わう。 ・「さくらさくら」の演奏をとして、正しい奏法を身につける。
2月	2	箏で「さくらさくら」の前奏を創作しよう。		・創作の材料である、平調子や箏の音色、特別な奏法のよさや美しさを味わい、箏の魅力を理解する。
3月	4	三送会、卒業式のうた	・各声部の役割 ・全体のハーモニーづくり ・パート練習の仕方 ・楽曲の基礎知識	・これまでの学習内容を総合的に生かして、自主的に協力して取り組むことができるようにする。 ・声部の役割を理解し、全体の響きを感じ取って歌うようにさせる。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、心を込めて歌うようにさせる。